

社会人入学試験（2期）正答

【英語】

カクテルパーティー効果	多くの人々が同時に会話している中で、ある特定の人間の話し声を選択し注意を向ける能力を特徴づけるために、C. Cherry が提案した用語である。この効果のおもな要因は、文脈、話の冗長性、話し手がいる位置、そして話し手の声の高さである。
-------------	---

【専門】大問1.

解離性障害についての説明	心的外傷などが原因で、意識、記憶、同一性、行動などの統合が破綻した状態。耐え難いストレス状況から自分の心を守るために、意識を切り離すパーソナリティの防衛反応とされる。 例として、解離性健忘は、外傷的な出来事や強いストレスの関連したことを、突然部分的に忘れてしまうというもので、日常生活や職業に関するものなどの記憶は残ることもあり、短期間のこともあれば長期に及ぶものもある。 離人感とは、自分と外界が距離をおいたように感じ、現実感を失ったりする。 解離性同一性障害、解離性同一症、多重人格と言われるものでは、一人の中に、全く別な人格が存在し、突然入れ替わったり、意識や記憶が連続しておらず、行動パターンも急に異なったりするため、周りも自分もとまどい、適応に困難が生じる。それほど多くはないが、幼児期に耐え難い虐待などを経験することにより、生じると言われている。 解離性遁走（フーグ）は、解離性健忘と関連していることが多いが、突然、関係のないところに行き、失踪、放浪したりする。
コンサルテーションについて、カウンセリングと対比させながら、目的、対象、責任の所在について説明しなさい	コンサルテーションは、異なる領域の専門家の間で行われるもので、コンサルタントは、コンサルティに対して、コンサルティがその専門性を生かしながら、抱えている心理社会的問題に対処する力をつけることを目指して行われる。コンサルテーションで対象にするのは、コンサルティが対応しているケースであり、コンサルティの個人的・人格的なことは対象としない。ケースに対する責任は、コンサルティにある。これに対して、カウンセリングでは、クライアントの抱える問題の解決を目指して、カウンセラーは支援を行う。カウンセリングでは、クライアントの抱える問題やその問題の成り立ちに関連すると思われるクライアントの心理的特徴や環境の状況などが対象となる。クライアントに対する責任は、カウンセラーにある。

【専門】大問2.

B. F. Skinner	アメリカの心理学者であり、オペラント条件づけの研究により「行動分析学」を確立した。スキナー箱を用いた動物実験を通して、強化や罰、消去といった働きかけが、自発的行動の頻度にもたらす影響を実証的に解明し、強化スケジュールの理論などを体系化した。また、徹底的行動主義の立場から、内的過程を分析対象とせず、観察可能な行動のみを分析対象とした。
強化スケジュール	強化スケジュールとは、特定の自発反応に、強化子を付随させる頻度に関するルールである。全ての自発反応に対して毎回必ず強化子を付随させる方略を「全強化」と呼ぶ。これに対して、一部の自発反応のみに強化子を付随させる方略を「間欠強化（部分強化）」と言う。初期段階では全強化の方が学習が速く成立するが、間欠強化の方が自発反応の生起回数は増加しやすく、消去に対する抵抗も強いという特徴がある。
ソーシャルサポート	ソーシャルサポートとは、心身の健康の維持や促進するような機能を持つ社会的な援助を指す。問題解決に役立つような資源や情報の提供をする道具的サポートや、愛情や信頼感を与えたり、悩みごとの相談などを通じて、感情状態の改善・自尊心の向上を促す情緒的サポートなど、サポートの機能によって分類されている。
ジェンダーアイデンティティ	ジェンダーアイデンティティとは、自分自身の性別をどのように認識しているかという、個人の内面的な感覚を指す。出生時に割り当てられた性別と一致する場合もあれば、一致しない場合や、男性・女性のどちらにも限定されない場合もある。性的指向や服装・言葉遣いなどの性表現とは異なる概念であり、本人の自己認識を尊重することが重要である。
ジェノグラム	ジェノグラムとは、数世代にわたる家族構成とその関係を記号や関係線を用いて図式化するものである。家族内の血縁関係や感情的なつながりなどの家族関係、行動パターン、病歴などを示す。
学生相談	学生相談とは、大学などに在籍する学生が、学業、進路、人間関係、心身の不調、生活上の問題などについて相談できる支援活動である。カウンセラーや教職員が学生の話を聴き、問題の整理や解決を援助するとともに、必要に応じて学内外の専門機関と連携する。学生が安心して学び、自立した学生生活を送れるよう支えることを目的とする。